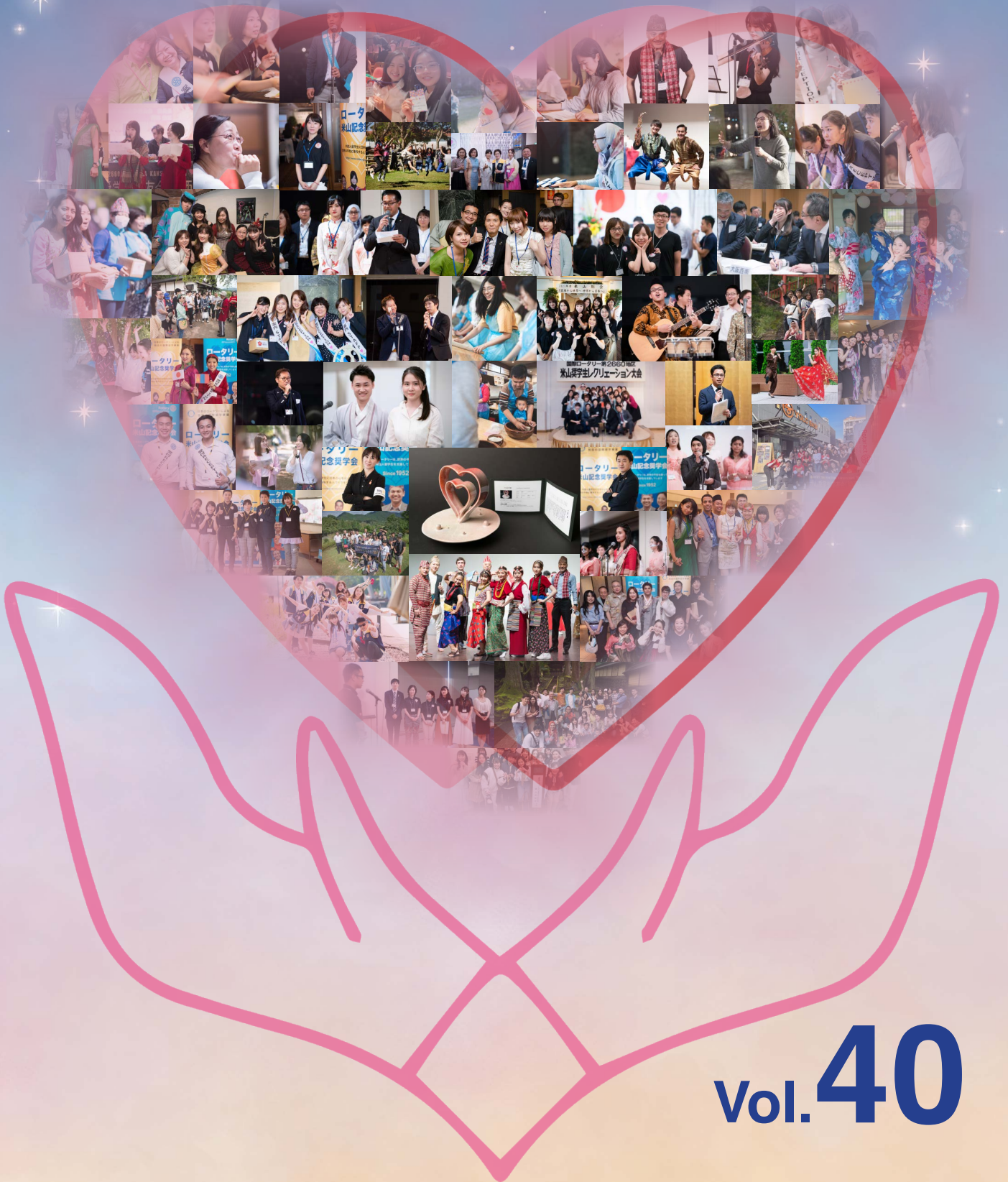


YONEYAMA SCHOLARSHIP ALUMNI ASSOCIATION KANSAI

国際ロータリー第 2660 地区
米山奨学生学友会 (関西)



Vol. 40

関西米山学友会 40 周年の取り組み？

- 40 周年記念特集発刊：寄稿を募集中
- 記念事業：【未来を担う子どもたちを応援しよう】
海外から来る子どもたち、米山学友会の子どもの EXPO2025 大阪・関西万博への参加サポート
- 健康づくり：大阪マラソンに参加
「Team Expo 2025」共創挑戦に「足が速くなるダンス!」をチャレンジすること。10 キロ、20 キロ完走できるように普段から健康づくりに
- 関西米山学友会 40 周年記念式典を開催：
時間：2025 年 7 月 6 日（日）15 時～ 21 時
場所：シェラトン都ホテル大阪

どの項目でも一緒に挑戦しましょう！



CONTENTS

挨拶・感想

- 03 ご挨拶 国際ロータリー第2660地区2023-24年度ガバナー
- 04 ご挨拶 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長
- 05 ご挨拶 国際ロータリー第2660地区2023-24年度米山奨学委員会委員長
- 06 挨拶 国際ロータリー第2660地区2023-24年度関西米山学友会会長
- 07 感想 カウンセラー代表
- 08 感想 奨学生代表
- 09 感想 メンターとして Protect What's Good
- 10 感想 メンティーとして 美味しい、助かる、友情：奨学生としての一年間の体験

活動報告

- 11 オリエンテーション 新たな一歩：オリエンテーションを通じて
- 12 米山勉強会 温厚篤実になれ！～米山船の小さい螺子になれ！
- 13 地区学友会春の総会 2022-2023年度ロータリー学友会 春の総会
- 14 関西米山学友会総会 総会&奨学生歓迎会の開催報告
- 15 米山学友世界大会 「再会in関東」一つながり・感謝・恩返し
- 16 宝塚レクリエーション 2回の宝塚レクリエーションで自分自身の成長を感じる
- 17 ポリオデー END POLIO NOW チャリティハロウィンパーティーでポリオ根絶支援
- 18 地区大会 23-24年度地区大会で学んだ音楽教育の力と社会貢献の意義
- 19 クリスマス交流会 EARLY CHRISTMAS 2023
- 20 ロータリーXmas in USJ 社会奉仕に参加して得た体験と感想
- 21 米山奨学生選考会 夢への一歩
- 22 米山奨学生終了式 夢と希望の旅立ち
- 23 米山感謝祭 復元復活の感謝祭：新たな絆と挑戦
- 24 卓話の感想 米山月間にちなんで
- 25 米山バンド 国際交流のハーモニー

寄稿

- 26 パスト会長近況報告 国際交流と友情の架け橋として
- 27 パスト会長近況報告 近況報告と後輩へのエール
- 28 奨学生の一言メッセージ

その他

- 29 会計予算決算明細 2024年度予算書
- 30 会計予算決算明細 2023年度決算書
- 31 現役奨学生名簿 2023～2024年度現役奨学生
- 33 役員名簿 2023～2024年度役員
- 34 40周年記念特集募集要項



ご挨拶

国際ロータリー第 2660 地区 2023-24 年度 ガバナー



大阪大淀 RC

延原 健二

平素より米山奨学生学友会（関西）の皆様方には大変お世話になっております。

年間を通しての2024学年度奨学生のオリエンテーション、レクリエーション、面接試験、終了式などのいくつもの行事をお手伝い下さりまして有難うございます。経験に勝るものはありません。様々な場面において、同じ不安と緊張を経験された皆様方が、応募者や奨学生に、細やかなお心配りや優しいお声かけをしてくださっているのを見るにつけ、いつも有難く感じております。皆様方がその場にいてくださり、諸々のお手伝いをしてくださること、応募者、奨学生は、随分

と安心し勇気づけられていることと思います。

さらに、日頃より奨学生の立場に立ち、奨学生に寄り添い、時に奨学生の様々な質問にお答えくださり、時にロータリアンとの接し方などをご指導してくださることにより、奨学生は学びに専念出来るとともに、ロータリー活動への参加に前向きとなり、ロータリー精神を習得する機会に恵まれています。皆様方の「メンター制度」のお陰で、従来の「世話クラブ・カウンセラー制度」は、より充実し、よりきめの細かいサポートを提供できる制度となっています。

8月に開催された米山学友会の世界大会「再会 in 関東」を成功裏に終えることが出来たのも、リーダー的存在の米山奨学生学友会（関西）のご活躍に負うところが少なくなかったと聞いております。10

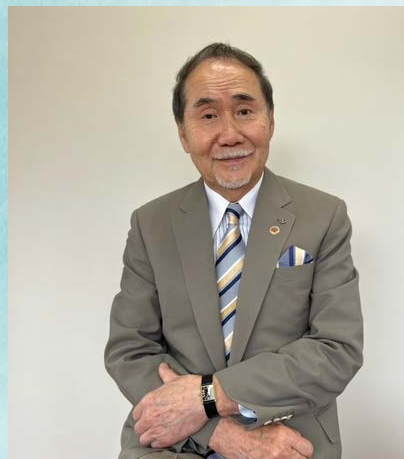
月にローターアクターが企画・開催した「END POLIO NOW チャリティーハロウィンパーティー」では、ダンスを披露して下さり、フードコートを担当して下さるなど、パーティーの盛り上げとロータリーファミリーの結束にご協力くださいました。本当に有難うございました。

皆様方のご活躍は、米山記念奨学事業の人材育成の成果とも言えます。皆様方が、生き生きと輝き、ご活躍されるお姿を、私たちロータリアンは誇らしい思いで拝見しております。奨学生の皆様は憧れと尊敬の眼差しで見つめておられることでしょう。

米山奨学生学友会（関西）の皆様方のさらなるご発展、ご活躍を心よりお祈りいたしております。

ご挨拶

公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会 理事長



大阪東 RC

若林 紀男

まずは、平素より米山学友として活動し、ロータリーに良い刺激と影響を与えてくれている学友の皆様感謝申し上げます。

昨年夏には Covid-19 の影響を受け準備に苦労しながらも、見事に「再会 in 関東」を成功に導かれました。関西からは 70 名のロータリーファミリーが参加されたとのこと、関東での開催とはいえ、関西学友会の協力が盛会を大きく後押ししたことと存じます。私も世界から集まった米山学友の情熱とパワーを肌で感じて、熱くエキサイティングな 2 日間を楽しみ、感動と共に米山の素晴らしさを再認識しました。

10 月 22 日の END POLIO NOW チャリティー・ハロウィンパーティでは関西学友会がブースを出してチャリティーに寄与してくれました。ブースの内容が「世界の料理と遊び・他国民族衣装体験」というのが米山らしいアイデアでした。

貴会は頼会長の下、「学友の親睦」「社会奉仕」「奨学生のサポート」の 3 つを柱に活発に活動し、他の学友会の手本となっております。

特に関西で支援を受けた学友に拘ることなくメンバーの門戸を開いていることは、出会いが拡がり常に新しい風が吹く素晴らしい方針であり、このスタイルが他の学友会にも広がれば、全国学友会の連携がもっともっとスムーズになると思っています。

また、メンター制度も素晴らしい取り組みであります。ご協力頂いている学友の皆様

には、社会人として忙しい中、貴重な時間を割いて奨学生を支援してくれることに、心より厚く御礼申し上げます。

この制度は奨学生にとっては心強く嬉しい制度ですし、ロータリーメンバーからしても経験者がサポートしてくれることは有難い限りです。サポートは大変なことも多いでしょうが、奉仕としてだけでなく奨学生を応援し育てることを楽しみながら、ご自分の成長にもつながっていけばこれ程喜ばしいことはありません。

これからも引き続きよろしく願い申し上げます。今後も貴会が全ての米山学友会のリーダー的存在として、楽しく・熱く活動し、益々発展されますことを期待しております。

ご挨拶

国際ロータリー第 2660 地区 2023-24 年度 米山奨学委員会 委員長



大阪西南 RC

魚谷 健司

平素より米山奨学事業に多大なるご理解とご協力を頂きありがとうございます。

米山奨学生学友会（関西）の皆様におかれましては、奨学生選考会、オリエンテーション、リクレーション等の奨学生関連事業につきまして スムーズな運営へのご協力 大変感謝しております。また、地区大会、ポリオデーイベント等の地区関連行事に関しましても積極的にご参加いただき、RACをはじめ、ロータリー学友との交流も益々広がっていくと期待しております。

当地区奨学生の皆様には プログラム終了後もロータリーと関わりを持っていただきたいと思います。大阪で次のステップに進まれる方は米山奨学生学友会（関西）に、他の地区へ行かれる方はその地区の学友会に、母国に帰られる方は母国の学友会に入ってください。

また、世話クラブの方々と気楽に連絡を取り合ってください。

本年度の大きな思い出は、2023年8月に筑波で開催された第三回米山学友による世界大会【再会 in 関東】に参加させていただいたことです。世界中から集まった学友より大きなパワーをもらい、皆様とも楽しい時間を過ごすことができたこと大変感謝しております。

現在10の海外学友会があり、そこで行われている様々な活動も大変興味深いものです。

一例としまして、台湾、韓国の学友会では日本からその国に留学する日本人留学生に対して、奨学金を出しておられます。このことは、ご自身が受けられた恩を次の世代へ送る、大きな恩送りの実践だと考えます。

現在他地区で米山奨学生を終了された方で米山奨学生学友会（関西）に入ってくださいという方が多くおられると聞きます。何名かの方の出身地区米山奨学委員長に米山奨学生学友会（関西）に入って頂いたご報告、お礼を申し上げたところ、元気に過ごされていること、生活されている地区の米山学友会に入られたことを大変

喜んでおられました。関西、関東、東海地方以外の地区ではその地区の奨学生がそのままその地区の学友になるケースが少ないと聞きます。そのような地区の米山奨学委員会では、就職先の学友になるようお話しされているとのことです。今後も他地区の奨学生が当地区の学友会に入られることを歓迎したいと思います。

米山奨学生学友会（関西）のメンター制度につきましては、大変素晴らしいもので米山奨学委員会といたしましても助けて頂いております。奨学生と年齢も近く、母国語でコミュニケーションが取れるなど相談しやすい関係にあり、カウンセラー制度と違った良さがあるように思います。また、米山勉強会につきましても、奨学生にわかりやすくロータリーの事を紹介していただき、ロータリー独特の用語などの解説もすぐに役立つことだと思います。

最後になりましたが、米山奨学生学友会（関西）の益々の発展と、学友の皆様のご活躍を祈念しております。

挨拶

国際ロータリー第 2660 地区 2023-24 年度 関西米山学友会 会長



やまと西和 RC (旧王寺 RC)
2006-2007
台湾

頼 育萱

いつも関西米山学友会の活動を応援して下さるロータリアン、ロータリー関係者の皆さん、そして学友・奨学生の皆さん、こんにちは。関西米山学友会会長の頼育萱（ライイクセン）です。会長を就任してから早くも2年を経とうとします。おかげさまで、この2年間、皆さんと共に様々な米山ファミリー活動ができたことを大変嬉しく思います。

2023-2024年度の「YONEYAMA HARMONY ～新しい未来への調和～」をテーマにした2年の活動を通して、縦・横の米山の絆を深めながら、次の世代に繋いでいくことを目指してきました。縦のロータリー関係者と横の米山学友同士、そして次世代の奨学生たちで、皆さんが関西米山の多彩な活動に共鳴し、お互いに学び合い、成長し合う場として、絆を深めることが私たちのミッションだと思います。特に、関西学友会独自の「メンター制度」が大変評価され、私たち学友会にとっても大変誇りのある活動の一つです。メンター制度により、地区米山奨学委員会と共に現役奨学生をロータリーでの活動をサポー

トすることで、確実に活動学友を増やすことができました。

イベント開催に関しては、今年度最も力を入れた活動で、総会&奨学生歓迎会をはじめ、クリスマス交流会、そして4年ぶりに開催できた米山世界大会「再会 in 関東」の企画と開催でした。また、コロナで対面の開催を中止していた米山感謝祭も現役奨学生の企画によって復活させました。これらの活動を通じて、多くの笑顔と感動と充実感を共有することができました。

最後になりますが、学友と現役奨学生の皆さんには、新しい仲間との出会いや、新たな挑戦を通じて、自らの可能性を広げることを目指して頂きたいと願っています。また、皆さんの意見やアイデアを常に歓迎しています。皆さんの声がより良い学友会を作り上げる力になります。どうぞ気軽に意見を出し合い、一緒に関西米山学友会を盛り上げていきましょう。皆さんと共に、素晴らしい一年を作り上げることを心から楽しみにしています。よろしく願いいたします。

感想 カウンセラー代表



大阪城南 RC

泉 浩一

米山奨学生のタオさんと初めてお会いしたのは、2022年4月7日の米山奨学生オリエンテーションでの会場でした。個別オリエンテーションから合同オリエンテーションへと移り、そこで初めてタオさんと挨拶することになりました。当時はまだコロナ禍でマスクは必須だったのでマスク越しに見えるキラキラ光る眼がとても印象的で、初めてお会いしたにもかかわらず、タオさんはとても明るく気さくにお話ししてくれ、とても優しい人でした。その優しさに小学生の私の娘はお姉さんのように慕い、タオさんは娘を妹のように接してくれました。二人は共に大の焼肉好きで、米山奨学生レクリ

ーション後や、休みの日によく三人で一緒に食べに行き、よく食べ、よく笑い、そしてよく喋り、とても楽しい時間を過ごしたことを思い出します。これからの日本の子供たちは海外の人たちとより多く接する機会が増えると思います。その中で娘がベトナム人のタオさんと出会えたことは、言葉の壁を低くし色眼鏡をかけず同じ地球人としてこれから海外の人たちと関わろうとすることができるようになったのではと感じ、感謝しております。

とても明るく優しいタオさんですが、当クラブのローターアクトにも参加しており、献血活動や清掃活動に積極的に参加してくれていました。また勉学も怠ることなく、一生懸命頑張ってくれていました。大学3年生終了時には日本人も含めた経済学コースの学生225人の中で1番の成績で終えています。とても頑張り屋さんで明るいタオさんは当クラブでも人気者で、先輩ロータリア

ンからは孫のように、若手ロータリアンからは娘のように可愛がられる存在でした。今、例会場にタオさんがもういないことにふと気づくと、とても寂しく感じます。

私自身、学生時代、台湾に留学した経験があります。渡航当初は勉強もですが一人で生活するにも一苦労な状況の中、人の優しさに触れ、いろいろな方にお世話になりました。そして日本に帰った時には、いつか必ず海外から日本に来る方のお世話が何かしら出来たらと考えておりました。今回奨学生カウンセラーという形で、少しでもお返しできたかは分かりませんが、このような機会を与えてくださったすべての方に感謝するとともに、これからも日本に来られる海外の方に、より日本を好きになって帰っていただけるような何かお手伝いが出来ればと、さらに感じた次第です。2年間本当にありがとうございました。



22年07月17日
ローターアクト献血



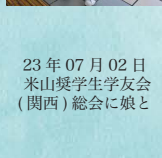
22年09月18日
3人で焼き肉



23年03月21日
家族で遊びに



23年06月23日
夜間例会



23年07月02日
米山奨学生学友会
(関西) 総会に娘と



23年07月30日
大阪城南 RC 野
球同好会練習



23年10月27日
大阪城南 RC ウク
ライナ支援後援
会で先輩奨学生の
テチアナさんと



24年03月29日
タオさん最終
例会にて



感想 奨学生代表

東大阪中央 RC
近畿大学
中国

羅 櫻

皆様、こんにちは。羅櫻と申します。僭越ではございますが、米山奨学生の終了生を代表しまして、一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

本日は、私たち終了生のためにこのような素敵な終了式を開いて頂きましてありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

このような皆様の顔を見ておると、初めてオリエンテーションに参加したのがついに先日のことのように思い出します。

その時は、まだ知っている人が1人もいなくて、ちゃんとこの大きな米山ファミリーに馴染めるかと不安になっていた自分もいました。でも今になって、家族のように支えてくれるロータリアンの方々、お兄さんお姉さんのように親切な米山学友会の方々、兄弟のように仲良くしてくれる奨学生、皆様のおかげで日本での留学生活がとても心強くなりました。

この2年間、ロータリークラブから米山奨学金を授与していただいて、この奨学金を受けるだけでなく、ロータリーと

いう大きなファミリーに入ったことは私にとって大変意義深いものであり、これを励みにして更なる学業成果を目指してまいりました。

また、学業の支援だけではなく、ボランティア活動や、国際交流活動や、たくさんのお勉強できる機会と楽しいイベントを用意してくださったロータリアンの方々や米山学友会の方々に、ここでは縮ながら奨学生の代表として心より感謝を申し上げます。ロータリアン、カウンセラーさんたち、米山学友会、メンターたち、他の奨学生の方々からもたくさん勉強させて頂きました。

2年前の私は、今のように人の前に立って話せるような人ではなくて、もっと内向的で、人と話すのが少し苦手でした。でも米山奨学生になって、さまざまなイベントに通じて、少しずつ変わった気がします。

一番印象に残っているイベントは、私の世話クラブ、東大阪中央ロータリークラブの皆様と一緒に児童施設の子どもと枚方パークに行った活動です。子供の年齢層がとても幅広く、2、3歳から18歳までいました。ちゃんと話せるかな楽しませるかなとずっと不安に思っていたのですが、ロータリアンの皆様と施設の先生方がすごく励ましてくれて、私にもっと積極的に動く勇気をくれました。そのおかげで、子どもたちと仲良くできて、去年



1年ぶりに子供たちとあって神戸の動物王国に行った時も、子供たち皆私のことを覚えてくれて、その時の嬉しさは今でも忘れなかったです。

このように、米山の様々なイベントを通じて、今の私がいます。本日、こうして米山奨学生を卒業していく私たちではありますが、まだまだ未熟でございます。ロータリアンの方々、米山学友会の方々には卒業してからもご指導を頂くこともあるかと思いますが、どうぞ変わらぬお導きの程、よろしく願い申し上げます。私たち米山奨学生は、米山を卒業しても、社会に貢献できる人材となるよう努めてまいります。また、米山という絆は、さらに深め、永きにわたるのではないでしょうかと私は信じております。

結びにあたり、もう一度ロータリアンと米山学友と関係者の方々には「ありがとうございます」の言葉をお送りしたいと思います。そして、皆様には奨学生の終了生を代表いたしまして重ねて御礼を申し上げます。

最後に、ロータリークラブならびに第2660地区のご発展とご臨席の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、私からのお礼の言葉とさせていただきます。本日はまことにありがとうございました。

感想 メンターとして

Protects What's Good



守口イブニング RC
2021-2022
中国

李 玥璇

2021年度の奨学生の李玥璇（リ ゲツセン）と申します。中国出身で、大阪大学で勉強しました。2023年からメンターを担当させていただき、新規米山奨学生4名と継続奨学生1名と共に活動を展開しております。初めてのメンター体験ということで、自分自身に目標を設けました。それはメンティーたちの相談相手であり、応援者となることです。

残念ながら、一身上の都合で2023年4月の奨学生オリエンテーションに出席できませんでしたが、LINEグループを通じてメンティーに挨拶を送ることができました。その後、5月には米山勉強会とい

うイベントが控えており、メンティーと直接会う機会が訪れます。しかし、面識のないまま参加することが失礼だと考え、親睦を深めるために4月中スパゲッティ食事会を急遽企画しました。食事会では、皆さんが自己紹介や最近の研究テーマ、趣味などについて語り合い、新たな絆の芽生えを感じることができました。

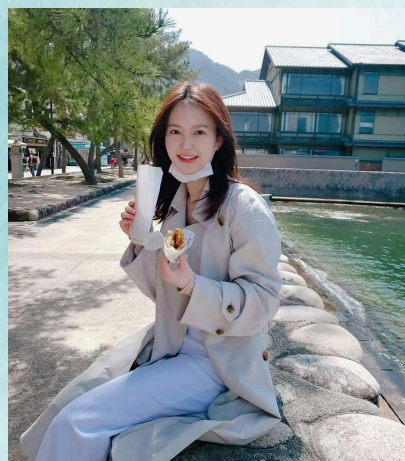
尊敬するロータリアン（末松大幸様）から教わった四つのテストを自分自身に問いかけながら、メンター活動を進めています。「好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」を常に考えています。「ご縁」の大切さと異文化の交流の重要性を意識し、私たちのグループではグルメリュウ食事会を3回開催しました。メンティーたちが初めはお互いに遠慮していた様子から、今では自由に会話を楽しむ姿を見て、メンターとしての喜

びと人間関係の大切さを実感しています。

今年の4月に、朝日に照らされた富士山を眺めることができる御殿場に引っ越しました。メンティーたちとは地理的に離れていましたが、LINEグループを活用してこれからもメンティーの生活をサポートしていきたいと思っています。メンティーたちとの「ご縁」が長く続くように活動を続けます。そして、メンティーたちのご活躍とご幸福を心から祈念しています。

感想 メンティーとして

「美味しい、助かる、友情」： 奨学生としての一年間の体験



大阪東 RC
大阪大学
中国

秦 莉

一年前、私は何も分からずに今のグループに参加しました。しかし、奨学生としての一年を経て、この制度に深く感謝しています。この制度のおかげで、素晴らしいグループの仲間たちと出会い、とても嬉しく思っています。今回は三つのキーワードで一年間の体験をまとめたいです。一つ目は「美味しい」です。グループには、中国のウチモングルやモンゴル出身の人がおり、彼らの紹介で初めてモングル料理を味わえました。その料理はとても美味しく、会うたびに何か美味しいものを楽しみにしています。二つ目は「助かる」です。グループのメンバーは異なる専門分

野に所属しているが、全員が博士後期課程に在籍しています。そのため、悩み相談や就職に関するアドバイスを受けることができました。専門外の問題についても、彼らからサポートを得られます。三つ目は「友情」です。奨学生の期限は一年または二年ですが、卒業した人たちとの交流は続いています。一人が赤ちゃんを産んだり、一人が就職したりと、みんなが成長していく中で、互いに交流し合い、本当の友情が芽生えています。今後も、この貴重なつながりを大切に、みんなと一緒にさらなる成長を目指していきたいと思います。



オリエンテーション 新たな一歩：米山奨学生 オリエンテーションを通じて



大阪交野 RC
大阪工業大学
中国

姜 雅婷

私は交野ロータリークラブにお世話になっている奨学生の姜雅婷（キョウガテイ）です。大阪工業大学工学部の電子情報システム工学科の三年生です。

4月6日に私は新規奨学生として2023年度米山奨学生オリエンテーションに参加しました。私にとって忘れられない日となりました。新たなステージが始まることへの期待と緊張が入り混じる中、ロータリーとロータリー米山記念奨学会について詳しく説明を受けることができました。奨学生としての責任や義務についても教えていただきました。そして、オリエンテーションを通じて名刺と奨学生バッジを手に入れることができました。

初めてのカウンセリングでは緊張で胸がいっぱいでしたが、

担当して下さったカウンセラーの方々の温かいサポートによって、段々とリラックスしていくことができました。自己紹介を通じて他の奨学生とも交流し、共通の目標に向かって仲間としての絆を感じました。確約書にサインする瞬間、私は本当に米山奨学生としての新たな一歩を踏み出した実感が湧いてきました。

これからは、米山奨学生としての責任をしっかりと果たし、例会やさまざまなイベントを通じて成長していきたいと思えます。この貴重な経験を通じて、自己成長を促進し、将来のキャリアに役立てることを目標にしています。また、恩返しの気持ちを忘れず、社会に貢献することを心掛けたいと考えています。

奨学生としての活動は、単なる経済的支援だけでなく、自己啓発や人間性の向上にも大きな影響を与えてくれるものだと実感しています。自分自身の成長を通じて、将来、周囲の人々

や社会に対しても貢献できるような人間に成長したいと思います。

これからの日々が、より一層充実したものとなるよう、誠心誠意努力していく所存です。



米山勉強会

温厚篤実になれ!~ 米山船の 小さい螺子になれ!



大阪梅田東 RC
関西大学
中国

呉 利玲

今日は、米山奨学生の皆さんが集まっており、大阪日本語教育センターで、2023年度のロータリー・米山勉強会が開かれました。

今度の勉強会は、新規の米山奨学生がロータリーファミリーの一員として踏み出す第一歩であり、ロータリーと米山記念奨学金制度について深く理解できるような親睦会とも言います。勉強会はとても気軽に暖かい雰囲気の中で順調に進みました。

会長のかなえさんが、最高の笑顔で丁寧にロータリー・米山記念奨学金制度に関する知識を紹介してくれて大変勉強になりました。地区米山奨学委員会の会長・坂田先生からのメッセージも更に励まされました。米山記念奨学金制度

はまるで見渡す限り広い海を航行している船のように私たちを乗せて風に乗る波を切って光を向かっています。

その後、「感謝祭を企画しよう~」というテーマをめぐって、奨学生の皆さんが、ブレインストーミングをして積極的にグループディスカッションに参加しました。色々なアイデアやアドバイスを生み出して知と知の間に打ち上げた花火は最高でした。

勉強会に参加しているうちに、心が段々暖かく豊かな感じになりました。私たちは色々な国や地域から来て違う学校に在籍しており、今までの人生の軌道もほぼ異なりますが、こうやって集まることができるとはまさかの「奇跡」とも呼ばれます。

かなえ会長が米山記念奨学金制度の組織構図と構成員を紹介してくれた時、「温厚篤実」という言葉がふと頭の中で浮かびました、辞書には「穏やかで優しく、真面目である様子。」と書かれていました。

米山第一人と呼ばれた米山梅吉氏をはじめ輝いている米山記念奨学会の構成員とロータリーの方々は「千里の道も一歩から」という諺の真の実践者として心を込めて各自の領域で誠心誠意で耕耘していると思っています。私たち奨学生も精一杯でそういう素晴らしさを持つ人間になろう!

よく考えてみれば、まだ若い世代である私たちが全身全霊で勉強や生活に取り込むことができたのは、色々な親切な方々や様々な組織に恵まれているこそではないでしょうか。ですから、私たちは「鶴の恩返し」という気持ちを持って米山船の一つ一つの小ネジになろうと思いつつこれからの道をしっかりじっくり歩いていこう!



地区学友会春の総会 2022~2023 年度 ロータリー学友会 春の総会



中之島 RC
2020-2021
台湾

陳 玉芬

4月16日に、ナレッジキャピタルカンファレンスルームにて国際ロータリー第2660地区ロータリー学友会の春の総会が開催されました。スケジュールの構成は、第一部は総会「学友会の存在意識を十分に発揮する」となり、第二部は大阪ネクストロータリークラブ・ロータリー財団プログラム学友である大月基弘氏より「歯科医師として、ロータリアン & 学友として、そして1人の人間として一若者よ！チャレンジングな人生を歩みませんか」をテーマにした講演会となりました。

第一部の総会において、ポリオ根絶や献血など様々なイベントを通して、地区学友会が「友愛の広場」に協力した青少年プログラムの学友会代表の方々に感謝状を授与しました。そして、閉会宣言では春の総会の目的として、ロータリー学友の間にある絆を広げ、強化していくと地区学友会坂口会長が語られました。

第一部を経て、それぞれロータリーファミリーの皆さんが異なる組織にいても、社会の課題解決、さらに地域により良い影響が与えられるように、自分の力を惜しまず

様々なイベントの開催に貢献し続ける姿勢を感じました。学友になる前まで、中之島ロータリークラブにて、ロータリアンに世話や恩恵をいただく立場でした。奨学生の立場を卒業してからこそ、学友のメンバーとしてロータリーファミリーの先輩の皆さんのステップを踏まえ、ボランティア活動などのイベントの開催に協力することを通して、いただいた恩恵を社会に還元することを実践していきます。

次に第二部では、大阪ネクストロータリークラブ・ロータリー財団プログラム学友である大月基弘講師が、学生時代よりロータリーとの絆を築いたきっかけや今までの歩みについて講演されました。講演会のほか、ワークショップ「歯みがきワークショップ-正しいハブラシ・歯間ブラシの使い方-」が行われました。

歯について、よく聞いていることは、「歯周病は沈黙の病氣」です。歯周病の予防に、歯みがきが大事だそうです。今回のワークショップより、今まで歯みがきに対する認識が間違っていると分かりました。歯みがきが重要なのは、歯ブラシを歯ぐきと歯の

間にある隙間まで届くことです。常に歯磨きを正しく行うほか、定期的に歯科に通うことも不可欠です。

大月講師が講演された内容により、歯に関する知識だけではなく、奨学生からロータリアンの一員に至るまで、今後に向け実践したいことや将来の目標を達成するための信念を意識し続けてこられる姿を身につけました。

学生及び奨学生の立場を卒業して一年が経ちました。社会人として二年目になりますが、これからは職場においても学友会においても、勉強していく中で自らの役割を見つけてまいります。最終的に、ロータリーファミリーの皆様のような社会奉仕を実践していく人になることを目指してまいります。今回、国際ロータリー第2660地区ロータリー学友会の春の総会よりたくさんの知識を勉強させていただきました。ありがとうございました！



関西米山学友会総会 総会&奨学生歓迎会の開催報告

やまと西和（旧王寺）RC
2006-2007
台湾

頼 育萱

2023年7月2日（日）に、恒例の関西米山学友会総会&新規奨学生歓迎会を開催しました。総勢163名のロータリアン、学友、現役奨学生及びご家族が集まり、大変意義深く、成功裏に終了しました。若林理事長をはじめ、延原ガバナー、魚谷委員長など多くの来賓の方々にご参加いただき、大変光栄に思いました。今年度の総会も昨年度と同様に「YONEYAMA HARMONY～新しい未来への調和～」というスローガンを掲げ、これからの一年の活動目標を定めました。

今回のプログラムは二部構成で、第一部の総会は約1時間で行いました。司会は、韓国出身の学友の申ユリさんとインドネシア出身の現役奨学生のニコラスさんが担当しました。お二人は民族衣装を着て登場し、華やかで落ち着いた司会進行を見事に務めました。若林理事長と延原ガバナーのご祝辞を頂き、次に活動報告、会計報告・監査、そして決議事項と次年度の活動計画及び予算案を発表しました。決議事項では、関西米山学友会の正式名称を東京本部米山記念奨学会の規則に基づき、「国際ロータリー第2660地区米山奨学生学友会（関西）」と決定し、通称「関西米山学友

会」は今まで通り使用可能としました。これにより、当地区との連携が一層深まることを実感しました。さらに、米山世界大会「再会in関東」の主催コアメンバーのPast会長何さんよりご案内がありました。総会の最後に「感謝の時間」を設け、いつも関西米山学友会を応援してくださる地区米山奨学委員会坂田委員長へ感謝の花束を贈呈しました。坂田委員長の「米山事業に新しい風を」という目標に少しでも貢献できたことを嬉しく思い、一年間一緒に楽しくイベントの企画などに参加させていただきました。次に、昨年の総会で募金した「ウクライナ募金」の報告をPast会長の潘さんより発表しました。

第二部の新規奨学生歓迎会では、新たに米山奨学生として仲間入りした皆さんを心から歓迎しました。司会は中国出身の学友の王梓さんとスリランカ出身の新規奨学生のバーシニさんが務め、和やかな雰囲気の中で歓迎会を進行しました。まずは魚谷委員長のご祝辞を頂き、山本理事の乾杯音頭により食事会がスタートしました。続いて、メンターグループごとにステージに上がり、奨学生一人ひとりが簡単な自己紹介を行いました。また、他地区から転入の新学友も自己紹介する時間を設けました。皆さんの緊張しながら一生懸命話している姿を見て、とても微笑ましく、心から応援したいと思いました。さらに、クライマックスの余興では、「米山バンド」を正式に披露し、会場を明るく楽しい雰囲気にしました。特



に米山バンドのリーダーを務めているネパール出身のスマンさんのギターソロ演出とタイ出身の学友のティタさんのサクソフロン演奏は会場を魅了しました。さらに、私たちは2025年の万博チャレンジダンスで『脚が速くなるダンス』を披露し、心も体も熱くなりました。最後に「米山の絆」を全員で歌い、YONEYAMA HARMONYのひと時を共有しました。Pastガバナー泉先生の講評と副会長の呉さんの閉会挨拶で締めくくりとなりました。

今回のイベントを通じて、学友会のメンバー全員が一体となって協力し合う姿勢を再確認できました。企画・運営に携わった全てのメンバーに感謝の意を表すとともに、この経験が今後の活動においても生かされることを期待しています。そして、ロータリーファミリーの関係者の皆様には、引き続き米山学友会の活動に共鳴して頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願いたします。



米山学友世界大会

「再会 in 関東」 —つながり・感謝・恩返し—

大阪天王寺 RC
大阪経済大学
中国

馬 文博

2023年8月15日、茨城県つくば市のつくば国際会議場において、第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」が盛大に開催されました。新型コロナウイルスの影響により、2019年の「絆 in モンゴル」の開催後、世界大会の開催は4年ぶりでした。本世界大会は世界38の国と地域から学友が集まり、ロータريانや現役の米山奨学生、家族なども含め、参加登録者数は1209人でした。

大会当日、午前中は「学友会ポスター」と「ビジネスポスター」が展示されました。そして、同会場多目的ホールには「米山フェスティバル」と交流スペースが設けられました。大会の式典は午後2時30分から、つくば国際会議場メインホールで開催されました。会議場は最大1258名を収容することがで

き、当日ほぼ満席でした。奨学生として、このような大会に初めて参加、米山のつながりが持つ力に感銘させていただきました。

大会は太鼓で衝撃的な音、龍の舞から始まった後、実行員会メンバーと学友会会長が各国の国旗を持ち、ステージに登場し、大会式典が開始しました。開会時、今回の実行委員長・朴貞子さんより①「大会を行うため、本当に多くの準備をしました」、「②サラリーマンとして「家族や多くの方の協力がなければ、開催することができません」と語りました。朴実行員長が頑張る姿やココロからの尽力の熱意はステージから1258座席まで届けましたと深く感動しました。

また、「米山学友の在り方と世界大会の開催意義」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。そのなかでの「居場所」「家族」「恩返しの場」三つのキーワードで深く米山の魅力と学友会の存在意義を再認識できました。さらに、「感



謝・恩返し」という言葉はよく耳にすることになり、今後、奨学生生活が終了した後、学友会に入りたい気持ちが強く湧きました。

大会最後は、朴実行員長から、第4回世界大会が2026年6月に台湾で開催されることが発表されました。大きな拍手、大会閉幕となりました。世界大会「再会 in 関東」に参加することを通じて、新しい出会いのことができ、視野もひろくなることが深く感謝しております。今後とも、感謝の気持ちを持ち、米山の活動は積極的に参加したいと期待しております。また、近い将来、米山の活動に微力を貢献したいと思っております。



宝塚レクリエーション

2回の宝塚レクリエーションで 自分自身の成長を感じる

大阪城南 RC
大阪産業大学
ベトナム

TRAN THI THU THAO

私は2022年4月から2024年3月まで、縁があって米山奨学生に選ばれ、大阪城南ロータリークラブにお世話になりましたチャンティトウタオと申します。この2年間、宝塚レクリエーションに2回も参加できたことは本当に幸運だと感じています。2020年から2022年までのコロナ禍でオフライン開催されなかったことを知り、2回も参加できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。そして、2回ともそれぞれの気持ちでレクリエーションの登壇になりました。

1回目は2022年9月18日にメンターグループでの登壇でした。自己紹介と「世話クラブとの繋がりを」をテーマに発表しましたが、奨学生になって約半年しか経っておらず、人の前で話すのは慣れていなくて、手足が震えるほど緊張しました。とても忘れられない経験でした。

2回目は2023年10月1日に

行われ、「最近の報告」というテーマで登壇しました。今回は不思議なことに気軽に話すことができました。もちろん緊張もありましたが、自己成長を感じました。その後、カウンセラーに「人前で話すのも慣れ、自分自身が少し上達したと感じました」と話したところ、「そうですね。1年前と比べるとだいぶ成長しましたよ。」と励まされました。その日は大変うれしく、深くて良い思い出でした。どんな状況でも自分の成長や上達を感じることができるとは、とても幸せなことだと気付きました。これは、米山奨学生の2年間に様々な活動に参加し、クラブでの卓話や多くの人々との交流があったからこそだと思います。

この2年間、多くの素晴らしい思い出を作りました。カウンセラーの泉さんとお子様と遊んだり、大阪城南クラブの皆さんと野球をしたり、応援に行ったりしました。また、例会に参加するたびに様々な話を聞き、貴重なアドバイスをいただきました。さらに、米山学友会にも参加し、世界大会での練習や踊り、ポリオ撲滅活動での販売、懇親会、テニスの練習など、数々の良い体験をしました。優しい米山学友会の皆



さんのおかげで奨学生の期間は本当に楽しく過ごせました。

米山奨学金は、経済的なサポートだけでなく、精神的な面においても素晴らしいサポートをしてくれたことをこの2年間で実感しました。米山奨学生になれたことは私にとって一生の誇りであり、大学生活もより豊かになり、宝物の経験となりました。これからもロータリーファミリーとの絆を大切に、今後の活動に参加していきたいと思えます。

毎年開催される宝塚レクリエーションは、奨学生の成長を示す素晴らしい機会であり、心から感謝しています。本当にありがとうございます。



ポリオデー

END POLIO NOW チャリティ ハロウィンパーティーでポリオ根絶支援

青森東 RC
2010-2011
中国

呉 偉偉

2023年10月22日の大阪市浪速区にあるYOLOBASEで2660地区ローターアクトクラブが主催したポリオ根絶を支援するチャリティーイベントに関西米山学友会からも20名ほどの学友が参加し、世界の料理やゲーム・衣装体験ブースを出しました。

ロータリーのPOLIO根絶への取り組みがわからない方もいらっしゃるかと思いますが、ロータリーは1985年にポリオ根絶キャンペーン「ポリオプラス」を開始し、1988年に世界保健機関、国連児童基金、米国疾病予防管理センターと共に、グローバル・ポリオ根絶イニシアティブを立ち上げ、国際的な努力を結集し、1988年に年間約35万件もあったポリオの症例を2022年に世界中でわずか7件にまで減少させることができました。

ロータリーメンバはポリオワクチンの受け入れを促進するための活動、資金提供、ボランティア活動、

感染予防キャンペーンの実施などポリオの根絶に向けて各段階において重要な役割を果たしています。また、最後の1件がなくなるまでにポリオ根絶に全力で努力しています。

今回のチャリティーイベントも我々の活動を通じて最も多くの方にポリオのことを知ってもらい、またこのイベントで集めたお金をポリオ根絶のために資金として寄付しました。

開催当日はロータリアン、米山学友会、米山奨学生、ローターアクト、青少年交換及び家族の方を含め400名以上の方が集まり、初のロータリー青少年団体の共同で開催した大きなイベントになりました。

私たち米山学友会のブースでは中華まんや台湾のフィッシュボールスープや粽などの料理の販売と、韓国で流行っているゲーム体験、またスリランカやネパールの民族衣装体験を行いました。

イベントが10時から開始しますが米山学友会のメンバーが前日から準備し、当日も朝早く現場に着いてブースの設置から調理用具の配置・準備を行いました。11時頃から来場者が増えてきて、学友たちが調理したり、商品券回収したり、調味料



の味付けの紹介をしたり大変忙しかったです。初めての試みて、売り上げを15万円目標に料理の準備をしました。最初売れるかどうか少し心配していましたが、皆さんが楽しく呼びかけをしたりしたことなどでなんと2時間で売り切れるほど大好評で、楽に目標を達成することができました。

料理ブースと体験ブースの他、米山学友会のメンバーが舞台上がりダンスの披露をし、会場全体を盛り上げる役として大活躍しました。

当日参加された米山奨学生及び学友会の皆さんがポリオ根絶のために自分なりの形で努力したと思います。

今後は米山学友会なりの奉仕活動しながらロータリーファミリーの中の他の青少年団体を連携しながら米山の絆をもっと広げ、もっと多くの形で社会奉仕活動を行ってきたいと思います。



地区大会

23-24 年度地区大会で学んだ 音楽教育の力と社会貢献の意義

大阪御堂筋本町 RC
大阪経済大学大学院
ベトナム

HO DIEU LY

2023-2024 年度の地区大会への参加を通じて、様々なことを学びました。特に印象的だったのは、地区大会の一日目に参加した分科会Ⅲでのことです。

この分科会では、テノール歌手の橋本恵史さんの歌を聴く機会がありました。彼の歌声は非常に力強く、美しいものでしたが、それ以上に感動したのは、彼がカンボジアを中心とした途上国の音楽教育発展のために国内外で精力的に演奏活動を続けていることを知ったことです。その情熱と献身に、私は深く心を打たれました。私たちにとって当たり前だった音楽の授業は、世界ではまだまだ多くの学校では存在しないことを、彼の話を通じて知りました。音楽教育がない学校が無数に存在するという現実に触れ、改め

て音楽の持つ教育的な力や社会への貢献の大きさを実感しました。彼の活動は、音楽を通じて教育の機会を提供し、子供たちに新たな希望と喜びをもたらしていることをわかりました。

彼の取り組みは、単に音楽を教えるだけでなく、子供たちに新たな可能性と未来への希望を与えています。音楽を通じて教育の機会を提供することで、子供たちが自己表現の方法を学び、自信を持つことができるようになっていきます。また、彼の活動は文化交流を促進する点でも重要です。異なる文化背景を持つ人々が音楽を通じてつながり、理解し合うことができるのは素晴らしいことです。音楽は言葉の壁を超えて人々を結びつけ、共感と協力の精神を育む力を持っています。橋本さんの演奏は、そのような力を体現しており、多くの人々に感動を与えています。

今回の地区大会への参加を通じて、私は音楽の持つ力と、それを通じて社会に貢献することの意義を



深く学びました。橋本恵史さんのような情熱を持った人物の存在に触れることで、自分自身ももっと社会に貢献できるような活動に取り組んでいきたいと強く思いました。この経験は、私にとって大きな財産となりました。



クリスマス交流会 EARLY CHRISTMAS 2023

摂津 RC
2019-2021
ベトナム

VO NU TRUONG GIANG

去年の12月、「EARLY CHRISTMAS 2023」というテーマでクリスマス交流会を開催させて頂きます。EARLY CHRISTMASというテーマにした理由は、EARLYといのは日本語で早いという意味で、クリスマスは12月24日から25日ですが、米山学友会のクリスマス交流会は12月9日の少し早い時期に再開させていただいたからです。もう一つの理由は、年内早くできた目標と次年の目標を早くみんなに伝えようということでクリスマス交流会にみんなで話し合っ頂きたいからです。ロータリアンや現役奨学生や学友会の交流を深める旨で開催前に役員みんなで役員会議をして、スムーズに交流会できるように役割分担をしました。その中で、私が幹事として勤めさせて頂きました。学友会の役員になって、初めて一つのイベントの幹事としてとても緊張しました。うまく行かないみんな楽しんでもらえるのにどうしたらいいのかなと考えていました。参加申込開始して約80名の多くの方々がお申し込みいただき、その緊張感と嬉しさが大きくなりました。場所は、梅田にある中華料理レストランにしましたが、店内は広がったのですが、一つの壁があり半分半分分けないといけないことになりました。「皆交流できるかな」、「大丈夫かな」と心配しましたが、交流会がスタートしてみんな楽しくお食事しながらお喋りしている雰囲気を見て少し安心しました。私は司会役として交流会の進行に

勤めさせて頂きましたが、途中で緊張すぎて日本語の使い方がぐちゃぐちゃになりました。それでも周りのみんながサポートしていただき私のミスを直してもらいながら楽しく過ごさせて頂きました。その瞬間に私が感じたのは、自分自身が一人ではない、ロータリーファミリーの一員になったらみんな家族のように何か困ったことがあったらみんなて助け合おうということであらためて深く感じる事ができました。自分自身が完璧でなくてもいい、ありのままの自分で努力すれば周りが応援してくれるのだと心の中で思えるようになりました。

クリスマス交流会に、カウンセラーと現役奨学生2名ずつの思いを聞かせてもらう時間も設けて頂きました。その中で印象に残った言葉があって、それは「娘一人が出来たようです」というカウンセラーからの言葉でした。そのカウンセラーは奥様も連れて来られて本当に家族のように見えました。家族のようではなくロータリーファミリーに入ると皆ファミリーと言えるでしょう。ファミリーの存在は、安心感をさせてくれるだろうと私は思いました。お互いに支え合い、共に喜びを分かち合う大切さを改めて感じる事ができました。

クリスマス交流会が終了後、みんなから「楽しかったよ」「ありがとうね」と温かい言葉と笑顔頂き、役員みんなは、何よりとても嬉しかったです。途中でパソコン操作ミスや、日本語の使い方が間違



など色々なトラブルもありましたが、みんな協力し合ったおかげで温かいクリスマス交流会ができたことを嬉しく思いました。参加して頂いた方々に感謝の気持ちがいっぱいです。学友会では、毎年クリスマス交流会を開催していますので、また次年度にも楽しく温かいクリスマス交流会ができるように、その翌週に役員みんなで役員会議をしてクリスマス交流会反省会をしました。「あれはよかった」「あれはもう少し改善した方がいい」など役員から色々と気付き、それを種として2024年のクリスマス交流会をより温かい交流にできるようにする存在でした。「EARLY CHRISTMAS 2023」クリスマス交流会にご参加いただきありがとうございます。心から感謝しています。また2024年度のご参加をお待ちしております。



ロータリー Xmas in USJ

社会奉仕に参加して得た経験と感想



豊中南 RC
2019-2021
韓国

申 ユリ

当たり前の話しかも知れませんが、子供の頃の記憶というのは鮮明に残っていないのがほとんどです。個人的には自分がその当時感じた感情などは記憶に残っていますが、客観的な状況認識や、自分の行動に対する記憶は曖昧です。そのため、自分が子供の頃、どのように振舞ったかに関する記憶には相手の反応やその当時のシチュエーションなどは含まれない、自分の立場での個人的な感情と反応のみです。加えて、育児の大変さに関しても教科書や他人から聞いた話のみでの情報だけだったので、あまり伝わっておらず、子供の頃には自分が育児される立場であったため、親の立場に関しての当時の感情や情報に関しては知らないうちまでした。私は今回のロータリー

Xmas in USJ を通じて親の偉大さを知り、子供という存在について前より理解できるようになりました。また、自分の子供の頃を振り返ってみるきっかけにもなりました。

子供の保護者の立場になるのは今回の活動が初めてだったのですが、子供に触れ合う方法というものについて経験することができました。最初は子供も私自身も人見知りという感じで距離感があったのですが、短い時間であったにも関わらず、一緒に遊んでいるうちに親密になりました。子供について気づいた点としては、様々なものが遊びになれるということと、こまめに問いかけることで子供のニーズを把握する必要があるということでした。様々な遊びの例としてかくれんぼがありました。待ち列や休憩の時にかくれんぼをしたのですが、場所に制約がある分、隠れてもすぐ見つかる場所でした。それにも関わらず大人も子供も楽しく遊べたと思います。

この場面において、大人の役割がとても大事だと思いました。子供の安静のためには、子供と遊ぶときや会話する際には子供の視点に合わせつつ、感情面においては大人として支えになる必要があると思いました。ニーズ把握においては、子供の性格差にもよると思うのですが、正確に欲しいものや行いたいものに対して伝えてくることが少なく、大人の視点での理解と子供の意思が噛み合っていない場合もあるため、こまめに問いかけたり、もう一度きくなどをする必要があると思いました。

米山奨学生選考会 夢への一步

大阪中之島 RC
2019-2020
台湾

劉 文婷

微力ではございますが、2024年度国際ロータリー第2660地区米山奨学生選考会のお手伝いとして参加させていただきまして、心より感謝申し上げます。

選考会当日は小雨の降る肌寒い日でしたが、選考委員の方々は早朝に選考会会場にお集まりになり、夕方遅くまで受考者たちのディスカッションや個人応答を熱心に聞き入って、公平公正な審査を行うことにご尽力されていました。私を含めて8名の学友の皆も選考会がスムーズ進めるようにお手伝いをしておりまして。皆さんとのやり取りを通じて、皆さんの熱意や情熱が伝わってきましたことで、寒い雨の日であっても心がとてもあたたかくなりました。

受考者の皆さんの少し緊張して

いるようなお姿を見て、選考を受けた当時のことが懐かしく思い出されました。選考を受けたのは、2019年でした。当時、緊張しすぎて心臓が高鳴り、ドキドキが止まらなくて言葉が詰まることもありましました。その時に、学友会の先輩から優しく声をかけてもらいました。温かい一言はとても励みになり、緊張感も和らぎました。そのうえ、面接官の方々も親切にしてくださいます。微笑みながら色々聞いてくださいました。米山ファミリーの間には互いに励まし合う強い絆があると感じはじめるのは、その日でした。

米山奨学金制度は、経済的な支援のみならず、特有の「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて奨学生への世話もしています。文化や慣習が異なり、馴染めない遠く離れた土地で暮らす留学生にとって、世話クラブに支えていただくのは、大変ありがたいことだと存じます。奨学生として採用していただいたことは、私の人生における大きな転機とな



りました。カウンセラー西田末彦さんをはじめとする大阪中之島ロータリークラブの皆様のおかげで、視野が広がり心も豊かになり、思いも寄らない多彩な充実した留学生活を送ることができました。奨学期間が終了したにもかかわらず、相変わらず温かく見守ってくださっています。皆様に恵まれ、ご厚意をいただくことに、ただただ感謝しております。

今回の選考会のお手伝いさせていただいたことによって、奨学生として採用されてからお学びさせていただいたことは自分の人生にどのような影響をもたらしたのか、を振り返ることができました。これからも、積み上げてきたことを生かし、自分の可能性に挑戦し続けてまいります。



米山奨学生終了式

夢と希望の旅立ち

大阪西南 RC
2021-2022
中国

王 梓

2024年3月2日、春の訪れを感じる頃、米山奨学会2660地区の奨学生終了式が行われました。関西米山奨学会委員会と学友会が協力して、カウンセラーと奨学生たちにとって思い出深い素晴らしい式となりました。準備には多くの打ち合わせとリハーサルが行われ、委員会と学友会の皆さんの尽力に感謝の気持ちでいっぱいです。

式の冒頭で、魚谷委員長から奨学生たちの才能と努力を称賛し、今後も高い目標を持ち続けて素晴らしい成果を期待しているという励ましのメッセージがありました。このメッセージは、奨学生たちの新たな一歩を支える大きな力となるでしょう。

次に、奨学生代表の羅櫻さんから、関西米山奨学会の委員会と学友会への感謝の言葉がありました。「多くの人々の支えがあってここまで来られました。本当にあ

りがとうございました。この経験を大切に、今後も成長に繋がりたいと思います」という言葉に、会場から感動の拍手が沸き起こりました。羅櫻さんの発言には感謝とともに、未来への強い決意が込められていました。

授与式後の懇親会では、奨学生たちと世話人やカウンセラーが和やかに歓談し、多くのエピソードが語られました。奨学生たちはそれぞれの体験を共有し、笑い声が絶えない場面も多く見られました。世話人やカウンセラーからは、将来に向けてのアドバイスや温かい励ましの言葉が贈られ、奨学生たちはその言葉に耳を傾け、感謝の気持ちを新たにしていました。全員が地域や社会への貢献を誓い、その姿には強い決意と責任感が表れていました。

今回の終了式を通じて、関西米山奨学会の委員会や学友会、そして多くの支援者の皆様の温かいご支援に改めて感謝の気持ちを抱きました。米山奨学会の活動は、奨学生たちに大きな夢と希望を与え、彼らの成長を支える重要な役割を果たしています。私たちも奨学生たちの情熱や挑戦に触れ、そ



の大切さを深く理解することができました。これからも学友会として、奨学生たちの未来を共に応援し、彼らが自信を持って前進できるよう全力でサポートしていきたいと思います。



米山感謝祭

復元復活の感謝祭：新たな絆と挑戦

大阪咲洲 RC
大阪市立大学
韓国

李 永昊

初めまして、大阪市立大学で経済学を勉強していて、現在咲洲ロータリークラブでお世話になっているイヨンホと申します。私の出身は韓国でして、日本には地方創生・少子高齢化に関する勉強をするために留学してきました。

今回の感謝祭は、復元復活というテーマで開催されました。

私たちはコロナという世界に悪影響を及ぼすウイルスによって社会的移動が制約されることになり、ロータリーの基本価値であるロータリー内外で多様性を尊重し、ボランティア活動を通じた社会的価値を実現することができなくなりました。

特に今回の感謝祭は2019年を最後にオフラインでの開催が不可能であり、米山奨学金を受けている奨学生たちがロータリアンたちに感謝を表現する機会がなくなりました。

私はこのような状況があまりにも残念で、悲しかったです。しかし、2024年にコロナ流行が終わり、以前のような環境で私たちはお互いの多様性を尊重し、お互いの社会的献身を祝うことができる環境が作られました。このような感謝祭が開かれる環境が復元されたという意味で、復元復活というテーマで感謝祭が開催されました。

しかし、これだけで復元復活というテーマを設定したわけではありません。今年初め、石川県大震災やJALの航空機事件が発生しました。この事件によって多くの人々が日常が奪われ、痛みの時期を経験しなければなりません。

このような地震によって日常が奪われた人々に新しい日常が与えられ、多くの喜びがありますように

JAL 飛行機衝突事件で亡くなった方々のご家族に家族を失うという大きな痛みを克服できることを願う気持ちから復元復活というテーマを設定しました。

そして、こうしたテーマの中で行われた感謝祭は盛況だったと思います。感謝祭がオフラインで開かれることになり、約80人を超えるロータリアン、学



友および現役米山奨学生たちが集まり、お互いのオフラインでの対話を通じて新しい縁を作っていき、実行委員会が準備した感謝祭コンテンツを楽しんでいただきました。このような新しい絆がコロナのような大きな災いを勝ち抜く原動力となり、世の中に数多くの問題を解決できるロータリークラブになることを祈ります。

長文読んでくださってありがとうございます。



卓話の感想

米山月間にちなんで

大阪城東 RC
2019-2020
中国

梅 星

2023年10月16日、私は大阪西ロータリークラブの栗村卓家会員のご招待で、例会の卓話をさせていただきました。

今回の卓話は「米山月間にちなんで」をテーマにしました。内容は以下になります：

皆様は支援していた米山奨学生は卒業した後、今は何をしているんだろうと疑問を持っておられると思います。今日はロータリアンの方々に我々米山学友について知って頂きたいと思います。

私たち米山奨学生は期間終了後、自動的に学友になります。我々米山学友会の活動が世界の各国の架け橋になり、奉仕活動を実施し、次世代の育成に貢献しています。学友たちはロータリー精神を受け継ぎ、国際奉仕、社会貢献、ロータリーの理念に基づいて頑張って活動しています。台湾学友会は2009年に日本人留学生を対象とした台湾米山奨学制度を立ち上げ、韓国も始めています。これは日本への恩返しです。ネパールでは大地震の際に日本から寄せられた義援金を有効に活用しています。今年5月にはベトナム南米山学友会が誕生しました。また、個人としても世界中で活躍しており、ロータリアンになった学友が292人、ガバナーになった学友は3人います。学友が中心となって設立し

たクラブは国内外で6クラブ、衛星クラブは3つあります。

今の日本は少子高齢化により人口が減り続けています。加えて日本の若者が海外へ流出する事態に直面しています。そんな中で米山奨学生の70%は日本で就職し、ロータリーとのつながりを持ち続けたいと願っています。米山奨学生は日本の未来を考える上で重要な投資になると思います。世界の米山学友会は共通の奉仕活動をしています。世界米山学友会連合を発足し、2年に一度世界大会を開催することを決めました。第1回目は2017年、大震災復興のために熊本での開催を決めて盛大に行なわれ、義援金を贈呈しました。2回目は2019年、モンゴルのウランバートルで、3回目は2023年、「再会 in 関東」ということで、つくば国際会議場で開催され、総勢1,209人の参加がありました。

学友同士、学友とロータリアンが親睦を深めると共に、世界平和と国際親善への認識を新たに致しました。また、2021年に予定されていた第3回「出会い in 台湾」はコロナで延期となりましたので、2026年6月に開催の予定です。

関西米山学友会の活動は3つの柱をベースに様々な活動を行っています。米山学友のネットワークを維持する、社会奉仕、現役奨学生の活動をサポートする、この3つです。社会奉仕について、2018年から米山教室の運営を開始しています。講師はボランティアで、集めた参加費は全て子供関係の教育機関に寄付しています。ローターアクトにもご協力頂いています。他にもロータリークラブの活動に協力しています。

直接的な社会貢献は多くの方に認識されや



すく、価値のあるものになります。現役奨学生の活動サポートは、関西米山学友会しかやっていない奨学生の活動をサポートする制度で、2019年から運営しています。経験のある学友が奨学生の各方面の相談に乗ります。母国語と同じ文化圏で交流し、人と人のつながり、奨学生とロータリアンとの交流をサポートします。私たちメンバーはより身近に感じられる存在だと思います。将来、米山学友になってくれることについても大きなメリットになると思います。

毎年、新規奨学生と新しい友情が生まれて、米山と関わるロータリアンの皆様と、新世代の育成に携わらせて頂いていると実感します。1日も早くロータリーファミリーの一員として馴染んでもらうために、毎年勉強会を開催しています。コロナ禍においては少人数で、その後はZOOMを活用し、去年からはマスク着用の対面に戻っています。今年は講義の後にグループディスカッションの時間をもうけました。社会貢献できるイベントについて、現役奨学生たちから沢山の素晴らしいアイデアが出て、楽しい勉強会になりました。横のつながりとして食事会を行い、交流を深めるきっかけになればと期待しています。学友のネットワーク維持について、私たちが最も力を入れている活動です。学友の家族、ロータリアン、関係者が集まる交流会を開催しています。

我々は米山奨学事業の素晴らしさを誰よりも知っていますので、この素晴らしい事業を誇りに思っ頂ければ幸いです。

米山バンド

国際交流のハーモニー



大阪西北 RC
2020-2022
ネパール

SHRESTHA, SUMAN

2023年6月、当地区のロータリアン、米山奨学生と学友たちが集まり、新たな音楽ユニット「米山バンド」が結成されました。奨学生や奨学金期間を終えた米山学友、さらにはロータリアンの皆様との交流と親睦を深めることを目的としたこのバンドは、未来のチャリティーコンサートを見据えた活動の一環として

始まりました。

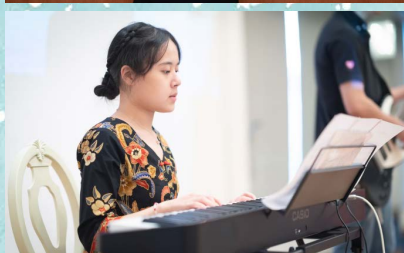
今年は新たに6人の奨学生がバンド活動に加わり、ますます賑やかにそして活気に満ちた活動が期待されています。多国籍なメンバーが集まり、それぞれの文化や音楽の背景を活かして創り上げる演奏は、多くの人々に感動を与えることでしょう。

バンド結成の発案者である坂田先生、そして楽器や練習場所を提供して下さる泉先生には、メンバー一同心から感謝しています。お二人のご支援なくして、この国際的なバンドの結成と活動は実現し

なかったことでしょう。

今後、米山バンドは地域社会に貢献するためのチャリティーコンサートを開催し、その収益をさまざまな社会貢献活動に役立てることを目指しています。ロータリアンの皆様には、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国際色豊かな米山バンドが、音楽を通じて多くの人々との絆を深め、より良い社会を築く一助となることを心から願っています。



国際交流と友情の架け橋として



千葉印西 RC
1997-1998
韓国

梁 栄友

国際ロータリー第2660地区
米山学友・米山奨学生の皆様
2012年度から国際ロータリー
第2660地区米山学友会にお
いて副会長、会長を務めさせて
いただき、「学友会」の活動は
元米山奨学生及び現役奨学生が
ロータリアンとの交流を深め、
ロータリーの思想とする国際交
流と親善、世界平和の創造と維
持に貢献することが目的であり
ます。米山学友会は、現役奨学
生並びに学友（元米山奨学生）
によって組織されています。
ロータリー米山記念奨学会
は、将来母国と日本との懸
け橋となって国際社会で活躍
する優秀な留学生を奨学する
ことを目的としています。
今現在、日本では33の学友会
があります。海外には韓国、台
湾、中国、タイ、ネパール、
モンゴル、スリランカ、マレ
ーシアとミャンマー、そして
ベトナム南、合計43の学友

会が存在しており、今いろい
ろな活動や交流をしております。
2016年5月に韓国で開
催されました国際ロータリーに
参加すること出来ました。当
時、地区より学友会にもご支援
をたまり、参加をさせていただきました。
2016年ソウル
国際大会での米山ダイジェス
ト！（ブース学友合同懇親会、
RI主催学友レセプション、分
科会）世界の米山学友がソウル
に集結！世界にYONEYAMA
が羽ばたいた第一歩を見るこ
とが出来ました。今は
尼崎市に住んでいます。今年
の学友会総会にお会いでき
るのを楽しみにしております。
再び、国際ロータリー第2660
地区米山学友・米山奨学生の皆
様とお会いし交わりを期待しつ
つ、皆様のご健勝とご成功を祈
ります。

2024年4月10日

近況報告と後輩へのエール



大阪平野 RC
1978-1979
韓国

魏 栢良

皆さん、こんにちは！桜の季節が過ぎ、若葉の艶やかな緑色を楽しむ初夏ですね。近況報告の前に、私の若干の学歴、経歴について紹介させていただきたい。まず、関西米山奨学生学友会の創立時の書記長と第2代会長魏（ウイ）栢良（韓国）であります。学歴は、大阪市立大学（現大阪公立大学）大学院法学研究科博士課程修了（法学博士（国際法））。経歴は、大阪経済法科大学法学部教授を最後に2015年度に定年退職し、2020年度までに関西学院大学法学部非常勤として勤務しました。研究活動は、2015年、「原子力商業利用の国際管理—原子力発電所を中心に—」（関西学院大学出版会）本を最後に現在は休止状態であります。し

かし私の生涯研究テーマでもある国際プログラム How to avoid human-made disasters の研究活動には参加しております。

ロータリークラブの皆様はこの紙面を借りして感謝の気持ちを込めてお礼申し上げます。大学院生時代に米山奨学金のご支援により、経済的な負担を軽減され、より一層研究に集中することができるようになりました。これは、私の学術的な成長にとって非常に大きな助けとなっております。またロータリー皆様のご支援の下、日本文化の習得にも役に立ち社会生活に大切な指針となりました。改めて、貴重なロータリー米山奨学金を授与としていただき、深く感謝申し上げます。末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

私の近況メッセージは、高齢による生活困難を乗り越えるため、いくつかの健康管理に取り組んでおり、日々充実した時間を過ごしているということです。新鮮な空

気を吸いながら、一日の活力を得ることが日課となっております。特に、毎日の7千歩きや週2回のテニスなどの活動に力を入れており、健康増進に邁進しております。また定期的な地元病院通いも生活の一端となっております。

最後に後輩の皆さんへひとこと言わせていただきたい。他国での学問の探究は決して平坦ではありませんが、その困難を乗り越えた時、大きな成功を手に入れることができます。学友と共に学び、助け合い、互いに刺激を受けながら、自分の目標に向かって邁進してください。皆さんのその努力と熱意が、未来を切り開く確かな人生の羅針盤となるのです。皆さんも素晴らしい初夏をお過ごしのことと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

2024年4月14日

奨学生の一言メッセージ

	<p>チムカ カウンセラーの福田さんをはじめ、守ロイブニングクラブのみなさんには奨学生の2年間たくさんお世話になりました。いつも暖かな気持ちで見守ってくださり心から感謝しています。ありがとうございます。</p>	<p>マイ (Mai Mai) 1年間お世話になりました。ありがとうございます。おかげさまで、留学生活で色々な体験、いい友達を作ることができました。特に、カウンセラーの田川さんと大東クラブのロータリアンのみなさま、いつも応援してくれて、心の底から感謝いたします。これからもどうぞ宜しくお願いします。</p>	<p>陳彦君 この2年間、井村さん数え切れないほどのサポートをいただき、誠にありがとうございます。私はこれからも皆様の期待を裏切らないように、一生懸命研究者になるための道を進んでいきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>羅櫻 この2年間、米山ファミリーの皆様がたくさん愛をくださってありがとうございます。米山奨学生を卒業してからは他の人々の生活に愛と彩りを与えられる大人になるように尽力致します。</p>	<p>だよん 池田ロータリークラブの会員の皆さん、1年間ありがとうございます!!皆さんの応援のおかげで、無事に院試を乗り越えることができました。ここ1年本当に楽しい思い出ばかりで、日本での留学生活をもっと充実させることができたとお思います。今まで本当にありがとうございました!</p>	<p>アジサイハン この1年間、皆様からいただいたご支援と愛に、心から感謝を申し上げます。特にカウンセラーの船橋様と豊中世話クラブの皆様からの温かい励ましのおかげで、新しい知識と経験を積むことができ、この経験は、自分の将来の夢へ向かって踏み出す大きな助けとなりました。今後もよろしくお願ひ致します。</p>	<p>王玉君 この2年間、いつも私を気遣って導いてくださった家族や先生のおかげで、忘れられない素晴らしい2年間を過ごしました!これからも皆様と素敵な思い出を作りたいと思います!」</p>
<p>ブリッケ ヨシュア 大阪北 RC の皆様、今年はご支援いただき、楽しい経験をたくさんさせていただき、誠にありがとうございます。天神祭りの船船、淀川花火大会や卓話への挑戦は大変貴重な思い出になりました。お陰様で研究にも専念でき、今年は博士論文を書けるようがんばります。来年度も何卒よろしくお願ひいたします。</p>	<p>ニコラス ヤンセン カウンセラーの岡本様をはじめ、摂津 RC やロータリアンの皆様は大変お世話になりました。皆様の温かい支援により、日本での大変意味あるものとなりました。この恩は一生忘れません、日本での一番大切な思い出をくれて本当にありがとうございます。皆様のような素晴らしい人になれるよう、頑張ります!</p>	<p>イヨンホ ロータリアンの皆さん、私はロータリーに入ってから大分人生が変わりました。昔は精神的にも身体的にも苦しい状況が続きました。しかし今は人生のやりがいを感じながら生きています。皆さんのおかげで夢を実現できる人になりました。皆さんのおかげです!ありがとうございます</p>	<p>馬文博 愛!ロータリーファミリー、ロータリアンの皆さん!花のように、多くの人のココロを癒していただき or 多くの人の後ろを応援していただき、ありがとうございます。ロータリーファミリー愛しています。</p>
<p>HO DIEU LY ロータリアンの皆様へ、いつも応援いただき、ありがとうございます。皆様の温かいご支援のおかげで、充実した学生生活を過ごして、新たな知識と友情を得ることができ、心から感謝しております。これからもその恩返しとなるよう、一層成長していきます。Rotary Family になれて良かったです。</p>	<p>関西米山学友会会長 頼香奈依 ロータリアンの皆さん、いつも関西米山学友会のことをご理解、ご支援をして頂きありがとうございます♪ これからも楽しく有意義なイベントを企画し、米山を盛り上げていきます〜今後とも変わらぬご協力を願ひします!ロータリーファミリー大好き。一生米山です。</p>	<p>- Bee Bee - ロータリアンの皆様へこの2年間、大変お世話になりました。貴重なお時間とご協力に心より感謝しております。私にとって、ロータリアンはこちら広い人たちであり、その温かさサポートは大変心強かったです。本当にありがとうございます。Quynh Nhu <3 東大阪ロータリークラブ</p>	<p>錢宝怡 ロータリアンの皆様へ大変お世話になりました。この2年間は様々な体験をしました。初めてシティーハーフマラソンのボランティアになったり、音楽フェスティバルのスタッフになったり、大鼓演奏会を見たり、などなど初体験のことばかりでした。本当にありがとうございます。</p>
<p>パーシニ ベレラ ロータリアンの皆様へ、ほぼ1年間お世話になりました。ロータリーのおかげで留学生には普通には経験できない日本のことをたくさん体験しました。ロータリーで学んだことをこれからも人生で生かし、ロータリアンの奉仕の心を日本はもちろん世界で広め、社会に還元していきたいと思っています。</p>	<p>黄譯萱 ロータリアンの皆さんへ、この1年間お世話になりました。例会以外にも、家族会や甲子園での応援、クリスマスパーティーなど、楽しく思い出深い活動がたくさんありました。また、実家である台北のロータリークラブとも多くの交流があり、今後も日本や台湾で皆さんの交流を続けたいと思っています。</p>	<p>ムガト ロータリアンの皆さん、ロータリーになってからあっという間に1年が過ぎましたが、本当に思い出深い経験となりました。経済的な支援と、ネットワークを広げ、新しい人々とお出会う機会を与えてくださったことに深く感謝いたします。充実した経験ができたことに感謝しています!</p>	<p>蔡 真彦 子供の自分の欠点を受け入れてくれて、大人の自分の成長を見守ってくれる池田くれば RC の皆様への感謝は、きっと言葉だけでは伝えきれないと思いますが、ありがとうございます!</p>
<p>純虹宇 ロータリークラブの皆様へ、心からの感謝の気持ちをお伝えしたいです。皆様のご活動によって、地域社会や世界中の人々に多大なる影響を与えていただいています。今後も、ロータリアンの活動がより一層繁栄し、より多くの人々に希望と支援を提供できることを心から祈っています。</p>	<p>姜雅婷 ロータリアンの皆さんへ1年間、大変お世話になりました。祇園祭はじめ様々な経験ができ、感謝しています。みなさんと一緒に交流する中で心優しくも温かい、家族のような心地よさを感じることができ、感謝しています。貴重な機会を与えてくださったロータリークラブの皆様へ心から感謝申し上げます。</p>	<p>デフォンジョブス ロータリアンの皆さん、私達、留学生を支えていただけてありがとうございます! 未熟な者で迷惑もいっぱいありますが、たくさんイベントなどに誘って楽しませていただけて感謝しています!ロータリークラブに入っすごく良かったです!</p>	<p>張 元享 ロータリアンの皆さんへ光陰矢の如し、この1年間お世話になりました。例会の参加を通して、日本の文化とマナーについて、いろいろ学びました。このような経験は滅多にあるものではないと考えております。交流の機会と様々な支援をくださって心から感謝しております。</p>
<p>Christine この2年間大阪城北ロータリークラブとカウンセラーの岩田先生、ロータリアンの皆様へ大変お世話になりました。心の奥からいつも感謝しております。今まで多くの思い出や経験、ご指導を誠にありがとうございます。これから社会に出て優秀な人材になるように頑張ります!</p>	<p>ケルム ロータリアンの皆様のおかげで、様々なイベントに関わることができました。私が日本語で司会をやる機会がたくさんあって、たくさん日本語を使う機会を得ることができ、おかげで日本語にますます自信がつけました。ありがとうございます。</p>	<p>グエンキムフン 米山奨学生として活動していたのはこの2年間で人生に希少な機会だと考えた。ロータリアンの方々から受けた親切な支えと励ましは私が困難な時に心強い支えとなった。その絆と共感私は私の心の支えとなり、私を前に進ませる力となります。大変お世話になりましたありがとうございます</p>	<p>チャンティトウオ ロータリアンの皆様のおかげで、この2年間、様々な活動に参加し、自己成長する機会を得ることができました。米山奨学生としての思い出は本当に一生の宝物だと感じています。大阪城南クラブの皆様とご縁ができたことを心から嬉しく思います。ありがとうございます。 TRẦN THỊ THU THẢO (タオ)</p>
<p>Pham Tran Chau 2年前にご縁があり、ロータリーファミリーの一員になれて本当に嬉しかったです。ロータリアンの皆様、学友会の皆様、いつも温かいサポートをいただき、困難な時でも前向きに歩み続ける勇気をいただきました。本当にありがとうございます。</p>	<p>Tran Thi Thu Hien ロータリアンのみなさん、2年間どうもお世話になりました。色々な方と出会い、たくさんの活動ができて、勉強になることもいっぱいあるので、自分が成長しました。米山奨学生になったのは本当に私の人生の宝でした。ありがとうございます。</p>	<p>エランバムガントイビ 米山ロータリーに奨学生として選ばれた機会を与えていただき、心より感謝申し上げます。米山での奨学生としての機会は、新しい知識と経験を得るだけでなく、多くの有意義なつながりと友情を築くことを可能にしました。2年間お世話になりました。</p>	<p>ずん 奨学生の一年間でカウンセラーの福田さんにたくさんお世話になりました。生活のことや就活活動で困ったり悩んだりした時に福田さんに相談し、適切なアドバイスをいただきました。福田さん、クラブの皆さんに心から感謝しております。</p>

会計予算決算明細
2024年度予算書

ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2023/7～2024/6年度予算案

自2023年7月1日

至2024年6月30日

収入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	2,512,146	
総会収入	800,000	
総会補助金	120,000	米山記念奨学会(40名x3,000)
交流活動収入	750,000	
交流活動補助金	90,000	米山記念奨学会(30名x3,000)
特別補助金	300,000	第2660地区活動補助
会報補助金	50,000	40号(1,500部)
寄付金	50,000	
総計	4,672,146	

支出の部

科目	金額	備考
運営費	50,000	
会報作成費	100,000	
社会奉仕活動費	140,000	
総会費用	1,000,000	
交流活動費用	580,000	
感謝祭費用	450,000	
雑費	10,000	
次年度への繰越金	2,342,146	
総計	4,672,146	

以上ご報告申し上げます。

2023年7月2日

会計 鄭 詩穎 

会計予算決算明細
2023 年度決算書

ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2022/7～2023/6年度会計決算書

自2022年7月 1日

至2023年6月30日

収入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	2,330,792	
総会収入	948,500	
総会補助金	153,000	米山記念奨学会(51名x3,000)
交流活動収入	714,500	
交流活動補助金	72,000	米山記念奨学会(24名x3,000)
特別補助金	300,000	第2660地区活動補助
会報補助金	40,735	会報39号(1,000部)
寄付金	82,500	
雑収入(利息・他)	16,371	
総計	4,658,398	

支出の部

科目	金額	備考
運営費	47,530	
会報作成費	81,470	
社会奉仕活動費立替金	22,600	
研修交流会費用	650,951	
総会費用	1,061,830	
交流活動費用	279,063	
雑費	2,808	
次年度への繰越金	2,512,146	
総計	4,658,398	

以上ご報告申し上げます。

2023年7月2日

会計 鄭 詩穎



会計監査報告

会計監査の結果、会計収支決算書は適正と認めます。

会計監査 李 麗俞



現役奨学生名簿

2023～2024 年度現役奨学生



大阪東淀ちゃやまち RC
GONCHIGSUREN,
UGANBAYAR

モンゴル
関西医科大学



豊中南 RC
宋 殊璇

中国
関西大学 (吹田市)



千里 RC
黄 愛真

韓国
関西大学 (吹田市)



大阪堂島 RC
李 晓晗

中国
関西大学 (吹田市)



摂津 RC
YANGSEN, NICHOLAS

インドネシア
関西大学 (吹田市)



大阪南 RC
MEGAT ADAM
BIN MEGAT HARRIS

マレーシア
近畿大学 (東大阪)



枚方 RC
TRAN THU HA

ベトナム
摂南大学



大阪咲洲 RC
李 永昊

韓国
大阪公立大学 (杉本)



交野 RC
姜 雅婷

中国
大阪工業大学



箕面 RC
JOBS, DEVON ADITYA

インドネシア
大阪工業大学



大東中央 RC
HUYNH THI PHUC QUYNH

ベトナム
大阪産業大学



大東 RC
NGUYEN THI MAI

ベトナム
大阪産業大学



大阪東 RC
秦 莉

中国
大阪大学



大阪淀川 RC
蒋 晴

中国
大阪大学



豊中 RC
阿 吉賽罕

中国
大阪大学



茨木 RC
李 敏

中国
大阪大学



大阪北 RC
FRICKE, JOSHUA

ドイツ
大阪大学



大阪天満橋 RC
ELVITIGALA, KELUM
CHAMARA MANOJ LAKMAL

スリランカ
大阪大学



大阪北梅田 RC
MELESSE HAILU,
SAHELMICHAEL

エチオピア
OCA 大阪デザイン & IT
専門学校



池田くれは RC
蔡 真彦

中国
大阪大学



豊中千里 RC
PONGAMPAL, KORAPIN

タイ
大阪大学



大阪中央 RC
王 玉君

中国
大阪大学



吹田西 RC
ELANGBAM,
NGANTHOIBI

インド
大阪女学院大学



千里メイプル RC
NGUYEN PHUNG KIM

ベトナム
大阪成蹊大学



高槻東 RC
銭 宝怡

中国
立命館大学 (茨木)



守口ロビニング RC
MYAGMANKHUU,
SAIKHANCHIMEG

モンゴル
関西医科大学



大阪城東 RC
申 東熹

韓国
関西大学 (吹田市)



香里園 RC
NGUYEN THI HUYNH ANH

ベトナム
大阪国際大学



大阪城北 RC
HUANG, CHRISTINE
AURELIA

インドネシア
大阪産業大学



東大阪中央 RC
羅 櫻

中国
近畿大学 (東大阪)



東大阪 RC
VI NHU QUYNH

ベトナム
大阪女学院大学



大阪うつぼ RC
関 歆燕

マレーシア
大阪産業大学



大阪フレンド RC
PHAM TRAN CHAU

ベトナム
追手門学院大学



大阪西南 RC
申 東主

韓国
立命館大学 (茨木)



大阪 RC
陳 彦君

台湾
大阪教育大学



大阪城南 RC
TRAN THI THU THAO

ベトナム
大阪産業大学



大阪帝塚山 RC
TRAN THI THU HIEN

ベトナム
大阪女学院大学



大阪リバーサイド RC
ESCOBEDO MARTINEZ,
JONATHAN ULISES

メキシコ
OCA 大阪デザイン & IT
専門学校



大阪梅田東 RC
呉 利玲

中国
関西大学 (吹田市)



東大阪東 RC
範 虹宇

中国
近畿大学 (東大阪)



大阪中之島 RC
黄 譯萱

台湾
近畿大学 (東大阪)



大阪船場 RC
VU THUY DUONG

ベトナム
大阪学院大学



大阪天王寺 RC
馬 文博

中国
大阪経済大学



大阪御堂筋本町 RC
HO DIEU LY

ベトナム
大阪経済大学



八尾 RC
DANG THI THUY DUNG

ベトナム
大阪経済法科大学



大阪大淀 RC
張 元享

台湾
大阪国際大学



大阪心斎橋 RC
CHANYASAK, PIWARA

タイ
大阪産業大学



大阪難波 RC
MATHUGAMA VIDANALAGE,
BASHINI DANANJANA PERERA

スリランカ
大阪女学院大学



池田 RC
宋 茶榮

韓国
大阪大学



大阪平野 RC
NGO KIEU TRINH

ベトナム
大阪日本語教育センター



大阪エビサシティ RC
李 素芳

中国
立命館大学 (茨木)

役員名簿

2023 ~ 2024 年度役員



会 長
賴 育萱

台湾
やまと西和 RC
(旧玉寺 RC)
2006-2007



副会長
吳 偉偉

中国
青森東 RC
2010-2011



幹事長
單 雅婷

台湾
四條岨 RC
2012-2013



会 計
鄭 詩穎

台湾
池田くれは RC
2018-2020



役 員
王 浩悦

中国
京都洛南 RC
2016-2017



役 員
梅 星

中国
大阪城東 RC
2019-2020



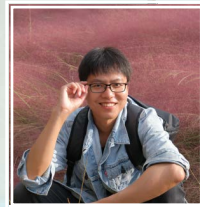
役 員
VO NU TRUONG GIANG

ベトナム
摂津 RC
2019-2021



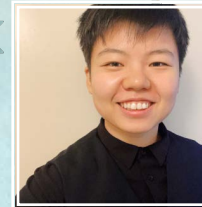
役 員
趙 航

中国
宮崎北 RC
2019-2021



役 員
王 梓

中国
大阪西南 RC
2021-2022



役 員
李 玥璇

中国
守ロイブニング RC
2021-2022



役 員
BUI, CUONG THINH

ベトナム
池田 RC
2021-2022



役 員
SHRESTHA, SUMAN

ネパール
大阪西北 RC
2020-2022



役員オブザーバー
申 ユリ

韓国
豊中南 RC
2019-2021



顧 問
何 玉翠

台湾
奈良 RC
1987-1989



会計監査
李 麗俞

台湾
奈良 RC
1984-1986



広報専任
鍾 允順

台湾
池田くれは RC
2014-2015

募集要項

40周年記念特集募集要項

米山学友会学友・奨学生の皆様、本学友会の活動をまとめて会報1986年創刊号から2024年度の40号まで、たくさんのご入稿、ご協力ありがとうございます。今後も引き続き、よろしくお願ひします。入稿について以下の事項をご確認ください。原則としてテーマ、内容、文字数、枚数、写真の提供は自由です。正し、研究レポートのご提出はご遠慮ください。

言語：日本語また英語

原稿の締切：毎年4月の末日時間厳守でお願いいたします。

送付方法：原稿はEメールでの入稿をお願いします。

注意事項：

テーマや文章のタイトルを必ず冒頭にご記入をお願いします。

テーマの下に、名前・国籍・現・元世話クラブの順番でお願いします。

文章の最初に簡単な自己紹介をお願いいたします（奨学生の受領年（現役奨学生は不要）も覚えていれば、記入をお願いします）。

文章を提出する際、顔写真、活動写真も一緒に提出ください（Wordファイルに挿入せず、写真データは別途添付）

編集チーム：

編集：鍾 允順（池田くれは RC：2014-2015）

校正：2023-2024年度役員一同

米山学友会の豆知識



学友会とは？

本会は、元・現米山奨学生間の交流を通じて、親睦および互助を促進すると共に、国際親善・世界の平和に寄与することを目的とする非営利組織です。

学友の活動とは？

異文化理解から語学力発揮、ボランティア活動から地道なお手伝いまで、学友たちが力になれるところで、今までの恩に感謝する気持ちを込めて貢献しております。

関西学友会の会員になる方法

関西に在住の元米山奨学生（OB.OG）現役奨学生の方々は全員は本会の正会員、準会員とする。関西近辺にいる学友の皆様、是非一緒に本会の活動にご協力、ご参加をお願い致します。

イベントなどの最新情報を提供

本会は、ホームページやFacebook等による運営を行っております。また、メーリングリストによる一斉送信も行っております。皆様のご登録、心からお待ちしております。

会費は必要ですか？

年会費は2012年度により廃止されました。
※但し、活動参加費のみ徴収しております。

活動情報とお問い合わせ

Website: <http://kansaiyoneyama.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/yoneyama2660>

Email: yoneyama2660@gmail.com

